

三句の渡り賞 入選六組

〔85 耳鳴りのする夜 入選〕	打越 春のコートが不安で膨らんでいる	宏子
	前句 尾久って何区だったっけ	瑞枝
	付句 リアカーを二人で押して丘の上に引越した	定史

〔85 耳鳴りのする夜〕	不可解は理知の言葉だが 不思議は愛の言葉さ	遊馬
	春のコートが 不安で膨らんでいる	宏子
	尾久って何区だったっけ おや鬱金桜	瑞枝

※現代詩に劣らない詩情が評価されました。

〔83 銀鯨噴 2点 入選〕	産むも産まぬも雪は激しく	遊馬
	銀鯨噴（ぎんがいがい） 汽笛一条凍て残る	浩
	はかなさからの唇移しです	繭

※ニグループが同一箇所を選び、前句の一字空き技法も効果的でした。

〔70 老ダンサー 入選〕	恋の句を籠いっぱいの詩あきんど	康子
	馳の道を帰る後朝	丹
	恍惚と白骨のまま漂流す	丹

〔70 老ダンサー〕	仙厓の描く三角角のなく	康子
	少年は鳥に魚になりもして	康子
	そこまで来ては消える夕立	丹
	国を生む神の力で廃炉など	康子

〔70 老ダンサー〕	仙厓の描く三角角のなく	康子
	少年は鳥に魚になりもして	康子
	西はこつちとあべこべを指す	丹

※流れに味があり複数の箇所三句の渡りが評価されました。

〔82 秋の笑い 入選〕	青春の「さらば箱舟」撃ち墜とす	貴夫
	アヴァンギャルドな鼻の声	美琳
	足跡を追う足音と雨足と	建穂

※打越・前句の展開に対しての付句の間の間い感覚が評価されました。

〔72 夏鮎 入選〕	発句 好きな子に少し意地悪夏鮎	初江
	脇 ベンチに残るレース手袋	ふう車
	第三 走る前腹式呼吸口閉じて	朋

※発句・脇・第三というスタートのヒラリとした展開が評価されました。

〔69 白酒 入選〕	熱燗にしようか鍋も煮えてきた	敦世
	とろんと垂れ目そこがかわいい	龍一
	プロポーズ夢の途中でしてみたみたい	則保

※付味の緩やかな流れのまったり感が評価されました。